

# 武蔵野市在宅医療・介護連携推進事業

## 令和3年度 活動報告書



令和4年8月

武蔵野市

## 目次

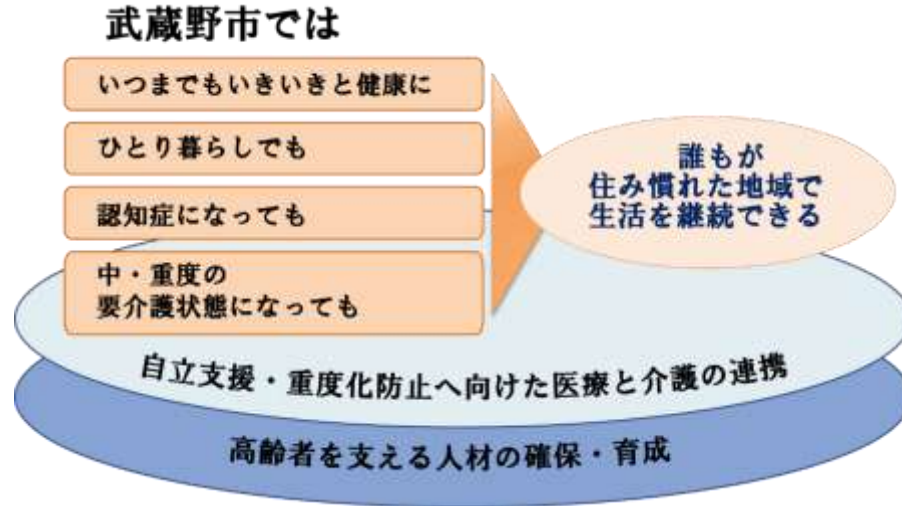
### 武蔵野市における在宅医療・介護連携推進事業

|       |  |    |
|-------|--|----|
| 1     | 2025年に向けて武蔵野市が目指す“高齢者の姿とまちづくり”             | 1  |
| 2     | 在宅医療・介護連携の推進                               | 1  |
| 3     | 在宅医療・介護連携推進事業                              | 2  |
| 4     | 武蔵野市の取組方針                                  | 3  |
| 5     | 武蔵野市における在宅医療・介護・福祉関係者が目指す連携                | 3  |
| 6     | 在宅医療・介護連携推進事業（8事業）の関連と協議会、5部会の設置           | 4  |
| 7     | 令和3年度 協議会・部会の開催                            | 6  |
| 8     | 令和3年度 武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会                   | 7  |
| 9     | 令和3年度 5部会の活動報告                             | 7  |
| 1)    | 入退院時支援部会                                   | 7  |
| 2)    | I C T連携部会                                  | 9  |
| 3)    | 多職種連携推進・研修部会                               | 10 |
| 4)    | 普及・啓発部会                                    | 11 |
| 5)    | 認知症連携部会                                    | 13 |
| 10    | 武蔵野市在宅医療介護連携支援室                            | 14 |
| 11    | 在宅医療・介護連携推進協議会通信                           | 18 |
| 12    | 武蔵野市在宅医療・介護連携推進事業 国の定める8事業（ア）～（ク）の取り組みについて | 22 |
| [資料編] |  |    |
| ・     | 武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会設置要綱                     | 23 |
| ・     | 令和2年度 協議会委員・部会委員名簿                         |    |
|       | 武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会                         | 25 |
|       | 入退院時支援部会                                   | 26 |
|       | I C T連携部会                                  | 27 |
|       | 多職種連携推進・研修部会                               | 28 |
|       | 普及・啓発部会                                    | 29 |
|       | 認知症連携部会                                    | 30 |
| ・     | 武蔵野市在宅医療・介護連携相談支援事業実施要綱                    | 31 |
| ・     | 武蔵野市在宅医療介護連携支援室開設のお知らせ                     | 33 |
| ・     | 入院時情報連携シート運用マニュアル                          | 34 |
| ・     | 入院時情報連携シート                                 | 35 |
| ・     | 武蔵野市におけるI C T連携のルール                        | 36 |

## 武蔵野市における在宅医療・介護連携推進事業

### 1 2025 年に向けて武蔵野市が目指す“高齢者の姿とまちづくり”

(武蔵野市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画より)



#### 医療と介護の連携

- 病院 ○診療所 ○歯科診療所 ○薬局 ○居宅介護支援事業所 ○訪問看護・訪問リハビリテーション事業所 ○訪問介護事業所 ○通所介護・通所リハビリテーション事業所
- 在宅介護支援センター・地域包括支援センター ○基幹型地域包括支援センター
- 基幹相談支援センター ○地域活動支援センター ○武蔵野市 ○武蔵野市福祉公社
- 武蔵野市民社会福祉協議会 ○武蔵野健康づくり事業団 ○東京都多摩府中保健所

《住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための基盤としての医療と介護の連携》

### 2 在宅医療・介護連携の推進



### 3 在宅医療・介護連携推進事業

平成 27 年度に介護保険法の地域支援事業にて制度化された「在宅医療・介護連携推進事業」において国が定めた 8 事業（下記 ア～ク）に対応すべく、在宅医療・介護連携推進協議会を設置するなど取り組みを進めている。

なお、令和 2 年 9 月の「在宅医療・介護連携推進事業の手引き」の改定では、これまでの 8 つの事業を踏まえつつも、地域の実情に応じた柔軟な実施に向け、PDCA サイクルに沿った取り組みを更に進められるように見直された。施行は令和 3 年 4 月からとなっている。（下図）

- ア) 地域の医療・介護資源の把握
- イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
- ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の連携推進
- エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援
- オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援
- カ) 医療・介護関係者の研修
- キ) 地域住民への普及啓発
- ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

厚生労働省HPより

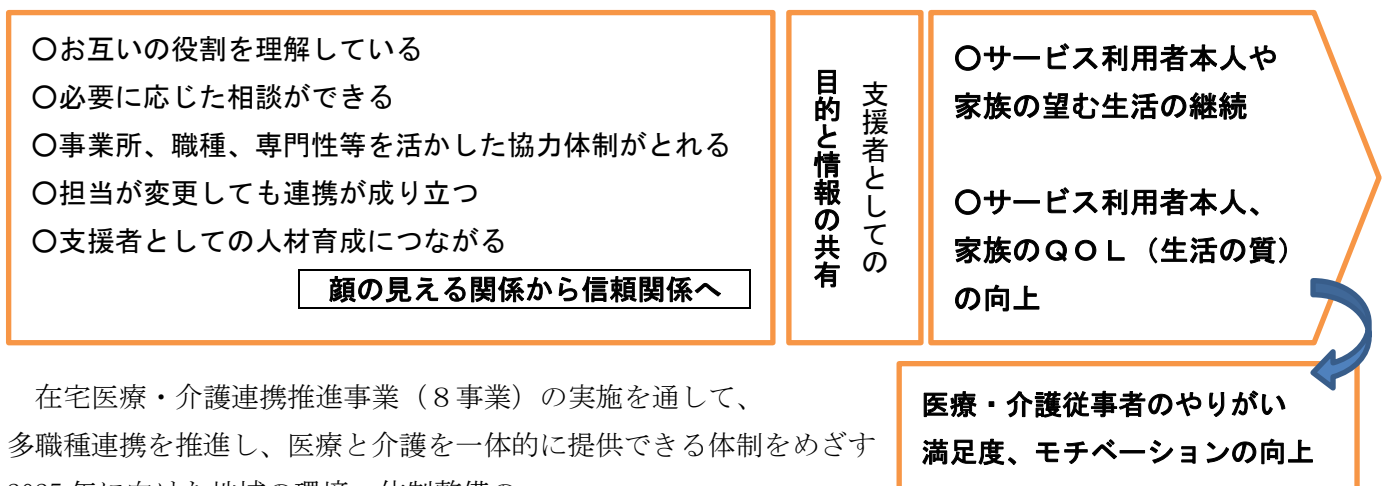


#### 4 武蔵野市の取組方針

本市においては、平成27年7月に在宅医療・介護連携推進事業の取組方針を下記のとおり定め、8事業を開始した。

| 武蔵野市における在宅医療・介護連携推進事業の取組方針  |  |
|-----------------------------|--|
| 在宅医療・介護連携推進事業の事業項目          | 武蔵野市の取組方針  |
| (ア) 地域医療・介護サービス資源の把握        | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 医療・介護サービスマップの作成</li> <li>● 武蔵野市医師会作成の医療機関総合案内の活用</li> <li>● 武蔵野市介護サービス事業者リストの活用</li> <li>● 武蔵野赤十字病院作成のリハビリ資源マップの活用</li> </ul> |
| (イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討  | ● 「在宅医療・介護連携推進協議会」を設置し、武蔵野市における医療・介護連携のルール等を協議   |
| (ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 訪問看護ステーションとケアマネジャーとの連携強化のための訪問看護ステーションへの補助金の新設</li> <li>● 退院時支援の課題抽出 ● 多職種連携ツール</li> </ul>                                    |
| (エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援        | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 脳卒中地域連携パス、もの忘れ相談シート等既存のツールの検証と改善</li> <li>● ICTの活用によるチーム在宅医療体制・チームケアの推進</li> </ul>  |
| (オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援       | ● 「在宅医療介護連携支援室」を武蔵野市医師会に設置し、医療・介護関係者の相談・調整を行う  |
| (カ) 医療・介護関係者の研修             | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地区別ケース検討会等の活用</li> <li>● テーマ別研修会、多職種合同研修会、全体研修会</li> </ul>  |
| (キ) 地域住民への普及啓発              | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 健康づくり事業団による情報提供・普及啓発</li> <li>● 講演会、シンポジウム等の実施</li> </ul>   |
| (ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携  | ● 東京都多摩府中保健所等との連携による圏域のネットワーク強化  |

#### 5 武蔵野市における在宅医療・介護・福祉関係者が目指す連携

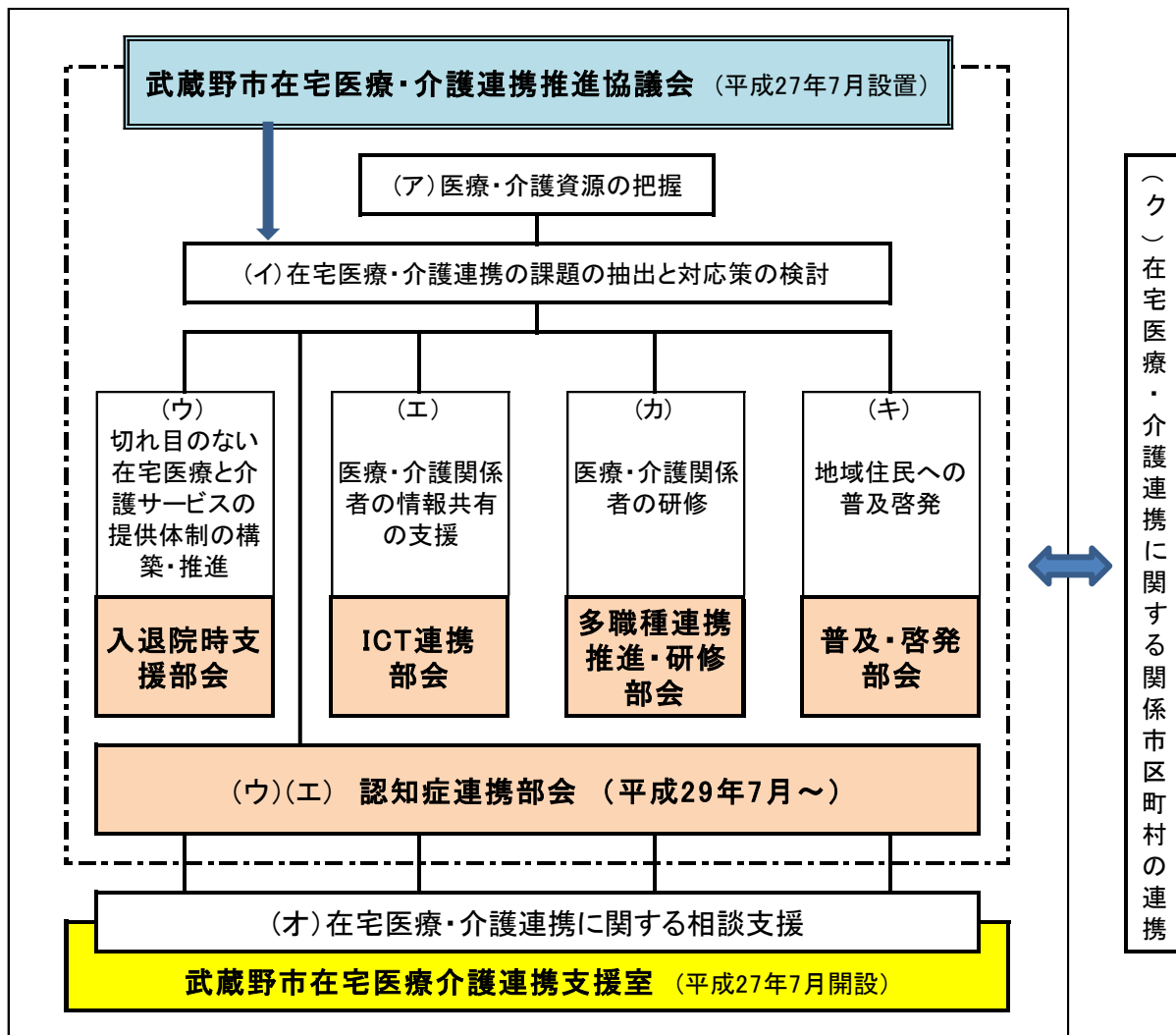


在宅医療・介護連携推進事業（8事業）の実施を通して、多職種連携を推進し、医療と介護を一体的に提供できる体制をめざす2025年に向けた地域の環境・体制整備の一つ。

## 6 在宅医療・介護連携推進事業（8事業）の関連と協議会、5部会の設置

在宅医療・介護連携推進事業の8事業は個別に独立して実施するものではなく、互いに関連させながら一体的に取り組む必要があるため、本市においては、下記のように8事業の関連を整理している。

令和3年度は、①入退院時支援 ②ICT連携 ③多職種連携推進・研修 ④普及・啓発 ⑤認知症連携の5部会を開催した。



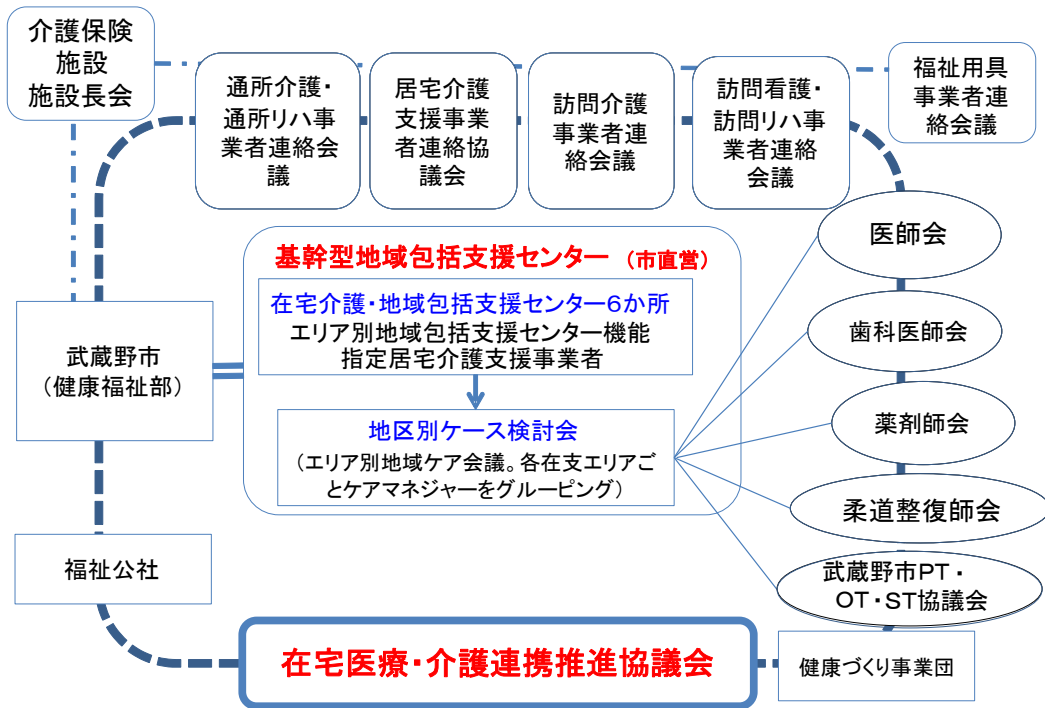
### 1) 在宅医療・介護連携推進協議会の設置

在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討（イ）を行う場として、医療・介護関係者からなる「在宅医療・介護連携推進協議会」を設置（平成27年7月）

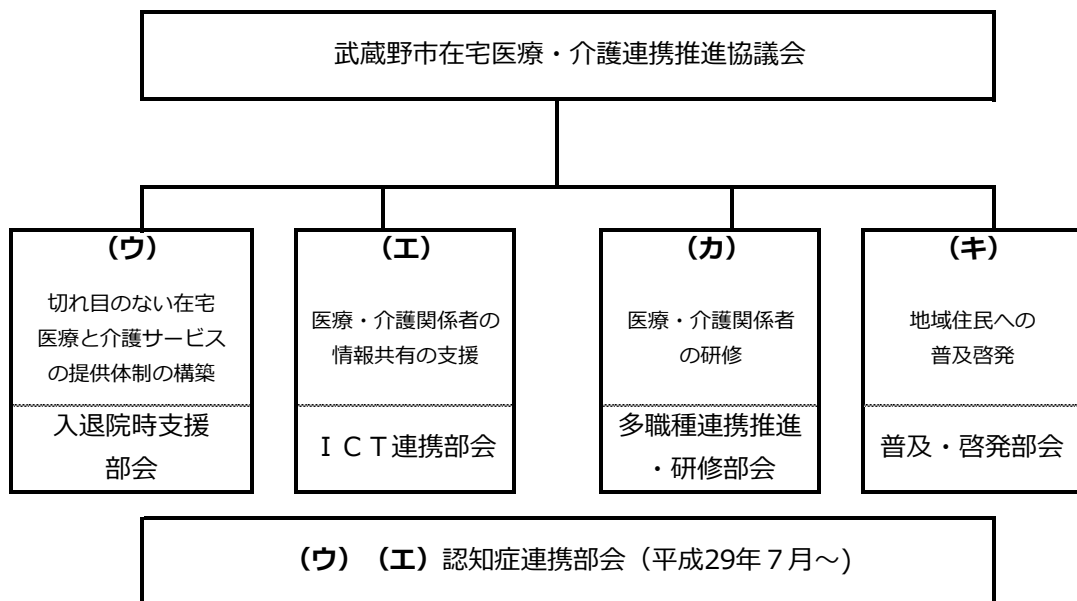
#### 【構成メンバー】

- 武蔵野市医師会 ○武蔵野市歯科医師会 ○武蔵野市薬剤師会 ○武蔵野赤十字病院 ○居宅介護支援事業所
  - 訪問介護事業所 ○訪問看護・訪問リハビリテーション事業所 ○通所介護・通所リハビリテーション事業所
  - 地域包括支援センター(基幹型) ○在宅介護・地域包括支援センター ○障害者福祉課 基幹相談支援センター
  - 地域活動支援センター ○武蔵野市福祉公社 ○武蔵野健康づくり事業団 ○東京都多摩府中保健所 ○武蔵野市
- 計18名

【参考】武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会 連携図



- 2) 在宅医療・介護連携に関する相談支援（オ）を実施する相談窓口として、武蔵野市医師会に「在宅医療介護連携支援室」を設置（平成 27 年 7 月）
- 3) （ウ）（エ）（カ）（キ）については、医療・介護の実務担当者が参加する 5 部会を設置し、具体的な協議を行っている。



## 7 令和3年度 協議会・部会の開催

| 年  | 月  | 日  | 曜日                | 在宅医療・介護連携<br>推進協議会 | 部会                |                   |  |                                    |                   |
|----|----|----|-------------------|--------------------|-------------------|-------------------|--|------------------------------------|-------------------|
|    |    |    |                   |                    | 入退院時支援            | ICT連携             | 普及・啓発                                      | 多職種連携・<br>研修部会                     | 認知症連携             |
| 3  | 6  | 29 |                   |                    |                   |                   |  |                                    | 第1回（オンライン）<br>13名 |
|    | 8  | 5  | 木                 |                    |                   |                   |  | 第1回（オンライン）<br>20名                  |                   |
|    | 8  | 24 | 火                 |                    |                   |                   | 第1回（オンライン）<br>14名                          |                                    |                   |
|    | 8  | 25 | 水                 |                    |                   |                   |  | 研修（オンライン）<br>291名                  |                   |
|    | 8  | 26 | 木                 |                    | 第1回（オンライン）<br>16名 |                   |  |                                    |                   |
|    | 8  | 27 | 金                 |                    |                   | 第1回（オンライン）<br>15名 |  |                                    |                   |
|    | 9  | 3  | 金                 | 第1回（オンライン）<br>18名  |                   |                   |  |                                    |                   |
|    | 11 | 25 | 木                 |                    |                   |                   |  |                                    | 第2回（オンライン）<br>16名 |
| 12 | 7  | 火  |                   |                    | MCS研修（<br>29名     |                   |  |                                    |                   |
| 4  | 1  | 13 | 木                 |                    |                   |                   | 第2回（オンライン）<br>13名                          |                                    |                   |
|    |    | 27 | 木                 |                    |                   |                   |  | 多職種による初期集中支援事業<br>事例研究（オンライン）参加45名 |                   |
|    | 2  | 10 | 木                 |                    | 第2回（書面）<br>20名    |                   |  |                                    |                   |
|    |    | 18 | 金                 |                    |                   |                   | 映画配信<br>2月18日～3月3日<br>（オンライン）<br>アカウント数104 |                                    |                   |
|    | 3  | 3  | 木                 |                    |                   |                   |  |                                    |                   |
|    |    | 10 | 木                 |                    |                   |                   |  |                                    | 第3回（オンライン）<br>13名 |
|    | 28 | 月  | 第2回（オンライン）<br>17名 |                    |                   |                   |  |                                    |                   |



## 8 令和3年度 武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会

今年度も感染対策のためオンラインでの開催となりました。

### 第1回協議会 9月3日(金)

- ① 令和2年度在宅医療・介護連携推進協議会及び部会の活動報告
- ② 令和3年度の取組みについて

### 第2回協議会 3月28日(月)

- ① 令和3年度在宅医療・介護連携推進協議会及び部会の活動報告
- ② 令和4年度の取組みについて



## 9 令和3年度 5部会の活動報告

新型コロナウイルス感染症対策のため、ほとんどがオンラインで開催されました。

### 1) 入退院時支援部会 【切れ目のない在宅医療と介護サービスの提供体制の構築推進(ウ)】

入院時情報連携シートのワクチン接種状況の記載欄を追加する見直しを行いました。

コロナ禍で対面によるカンファレンスが難しいなか、入院の時から退院後の在宅生活を見据えた医療と介護の連携をどのようにしていくかが課題にあげられ、入院時連携シートが活用されている状況がわかりました。

《令和3年度の活動内容》

#### 第1回部会 8月26日(木) 16名参加

- ① 令和2年度活動報告
- ② 令和3年度の部会の進め方について

#### 第2回部会 2月10日(木) 書面開催

- ① コロナ禍における入退院時の医療と介護の連携について
- ② 入院時情報連携シートの活用状況について
- ③ 来年度の部会の進め方について



### 1. コロナ禍における入退院時の支援についての主な意見

- ・入院時の情報としてワクチン接種状況がわかると良い。
- ・家族が陽性だった場合、入院する本人が濃厚接触者となるのかどうか正確な情報が欲しい。
- ・面会制限があるため、入院時の心身状態の情報が取りにくいですが、書面やオンラインでの退院時カンファレンスで情報共有するようにした。
- ・事業所によってはオンライン環境が整っていないところもあり参加できない事業所もあった。

- ・退院時に PCR 検査をやってもらえると、不安なく在宅でサービス導入できる。
- ・在宅でかかりつけ医がいない患者の退院支援にどう対応するか難しかった。
- ・コロナ患者が受け入れ可能な病院は武蔵野赤十字病院のみ。救急の対応も困難。
- ・市内の病院でも満床となり、通常の入院であっても対応が難しいことがあった。
- ・第 6 波で患者や職員が陽性となり、病床が満床となり入院ができない状態となった。武蔵野市内だけでもリアルタイムでそういった情報が共有できるシステムがあると良い。

## 2. 入退院時に連携する時の医療・介護の制度についての主な意見

- ・診療報酬改定において、地域包括ケア推進に向けて入退院支援加算が強化されることをふまえ、武蔵野市内で使いやすい仕組みを部会でリードしていく必要がある。
- ・介護保険、医療保険それぞれの加算要件を理解することで、お互い連携しやすくなるのではないかな。
- ・入院時連携シートの情報が、退院（在宅）にむけて計画する時に役に立っている。
- ・加算ありきの連携にせず、患者目線の連携を考えていくことが必要ではないかな。

## 3. 令和 4 年度にむけた課題

迅速かつ正確な情報共有が求められることもあり、在宅と入退院時の連携がスムーズになるためにはどのような情報が必要となるか。また、シート（紙）による連携だけではなく、ICT の活用についても検討できるとよいのではないかな。

## 2) ICT 連携部会 【医療・介護関係者の情報共有の支援（工）】

往診や訪問診療に対応できる医療機関を始め、歯科・薬局・訪問看護ステーション・介護事業所・相談窓口など必要な医療資源の情報をキーワード検索できるシステムとして令和3年1月から運用開始した武蔵野市在宅医療・介護資源マップ（WEB版）の更新を行いました。

また、MCS（メディカルケアステーション）活用のための研修会をオンラインで行いました。

### 《令和3年度の活動内容》

第1回部会 8月27日（金） 12名参加

- ① 在宅医療介護資源WEBマップの更新について
- ② MCS（メディカルケアステーション）の活用について
- ③ 在宅医療介護連携支援室のホームページについて

### 1. MCS研修会 12月7日（火）

「MCS（メディカルケアステーション）の活用方法について」

講師 エンブレース株式会社 松尾千歌氏

参加者 29名 オンライン

MCS（メディカルケアステーション）にある機能の説明や使い方について、エンブレース株式会社から担当者の方を講師として研修会を開催した。

| MCS 登録メンバー数     |     | 市内  | 市外  |
|-----------------|-----|-----|-----|
| 医師              | 77  | 59  | 18  |
| 歯科医師            | 45  | 33  | 12  |
| 薬剤師             | 88  | 58  | 30  |
| 訪問看護・訪問リハビリ     | 110 | 53  | 57  |
| 介護支援専門員         | 122 | 55  | 67  |
| 訪問介護            | 115 | 64  | 51  |
| 在宅介護・地域包括支援センター | 35  | 30  | 5   |
| 地域包括支援センター      | 11  | 2   | 9   |
| 行政              | 7   | 7   | 0   |
| その他             | 48  | 22  | 26  |
| 計               | 658 | 383 | 275 |

（令和4年3月31日現在）

### 2. 令和4年度にむけた課題について

令和3年度では改めてMCS（メディカルケアステーション）を活用するための使い方の研修を行った。感染症対策においても対面によらず連携できる有効な手段でもある。医療・介護の連携において、MCSの使用は効率的でもあるため、より活用しやすくなるよう取り組んでいきたい。

### 3) 多職種連携推進・研修部会 【医療・介護関係者の研修（力）】

新型コロナウイルス感染症での自宅療養にむけて、どのように多職種が連携しなくてはならないのかをテーマとした研修会をオンラインで開催しました。

また、認知症連携部会から、認知症初期集中支援事業における事例研究を部会員だけにとどめず、広く行いたいという意向がありました。令和3年度は、認知症初期集中支援事業における事例研究を認知症連携部会との協同で開催しました。この認知症連携部会との協同研修においても、感染症対策のためオンラインによる開催となりました。

#### 《令和3年度の活動内容》

第1回部会 8月5日（木） 25名出席

- ① 令和3年度の研修のすすめ方について
- ② 研修テーマについて

#### 1. 研修会（オンライン）

開催日 令和3年8月25日

参加者 291名（アカウント数 198）

武蔵野市の取組説明

「武蔵野市における自宅療養事業」

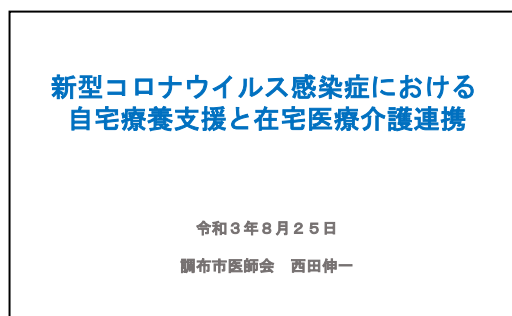
武蔵野市安全対策課長 今井隆文氏

基調講演

「新型コロナウイルス感染症における自宅療養支援

と在宅医療・介護連携」

東京都医師会理事 調布市医師会会長 西田伸一氏



#### 2. 認知症初期集中支援事業における事例研究（認知症連携部会にて報告）

#### 3. 令和4年度にむけての課題について

これまで行ってきた対面でのグループワークは、多職種連携の促進にむけた顔の見える関係づくりに大きな役割を果たしてきたが、現状では感染拡大防止の観点から、多職種が一同に会するのは難しくオンラインによるものとなった。また、今年度は認知症連携支援部会との協同で、オンラインでのグループワークを行った。アンケート結果からもコロナ禍においてはオンラインによる研修が有効な方法であるとの意見が多数あった。感染症対策が必要な状況はまだ継続すると考えられ、研修テーマはもちろん、研修の開催方法についても今後は検討をすすめ、顔の見える関係づくりを継続していきたい。

#### 4) 普及・啓発部会 【地域住民への普及啓発（キ）】

コロナ禍により市民向けセミナーの開催が困難となり、令和2年度と同様に「在宅医療」「介護」「多職種連携」「看取り」をテーマとした映画をオンラインで配信しました。併せて映画の冒頭に、市長による在宅医療介護連携に関するメッセージの動画も配信しました。

また在宅医療・介護連携推進についてのリーフレットを見直し、作成しました。

#### 《令和3年度の活動内容》

第1回部会 8月24日（火） 14名

① 令和3年度の部会の進め方について

第2回部会 1月13日（木） 15名

① 市民向けセミナー（映画配信）について

② リーフレット作成について

#### 1. 市民向けセミナーについて

「医療と介護の連携や看取りについて学ぶ」をテーマとした映画「ピア～まちをつなぐもの～」「ケアニン～あなたでよかった～」のオンライン上映を行った。

事前申込制 アカウント数 104

視聴者 最年少 40歳、最高齢 82歳、平均 56.2歳

上映期間 令和4年2月18日～3月3日

#### 【感想（一部抜粋）】

- ・介護もひとつの仕事であり、知識と技術、経験はもちろん、それ以上に人と寄り添う気持ち、強い精神力が必要であると考えさせられた。
- ・介護の現場を知らないので良い勉強になりました。
- ・こうした映画やドラマなど医療介護の仕事の素晴らしさがもっと広まって欲しい。
- ・介護についていろいろと学ばせていただく機会を頂き感謝いたします。
- ・地域づくりは絵に描いたキレイな物語ではなく、毎日毎日の取り組みの積み重ねだということ強く感じました。
- ・地域医療の大切さがわかり非常に良かった。いつまでも住み続けて良かったと思える武蔵野市になって欲しいと思います。



## 2. リーフレットについて

より身近なものとして考えてもらえるよう、健康づくり事業団のオリジナルキャラクターむさしDANちゃんとDANちゃんファミリーを登場人物として作成。情報の更新、内容についてもわかりやすいよう事例を用いて解説した。

## 3. 令和4年度にむけての課題

次年度以降も、感染状況によっては大人数が集合することや対面方式が難しいことが考えられるため、どのように市民への普及・啓発を行うかが課題である。リーフレットについても、感染予防を意識して、配架されたものを手に取ることを躊躇する人も多くなっている現状があり、新しい生活様式にあわせ、どのように普及啓発していくかを検討していく。



5) 認知症連携部会 【切れ目のない在宅医療と介護サービスの提供体制の構築推進（ウ）】  
【医療・介護関係者の情報共有の支援（工）】

前年度から引き続き、認知症初期集中支援事業の事例を用いた事例研究を行いました。前年度は部会の中だけで行っていた事例研究を、多職種連携推進・研修部会との協同で行うことにより、より多くの医療・介護の専門職と意見交換ができました。

《令和3年度の活動内容》

第1回部会 6月29日（火） 22名出席

- ① 令和2年度の部会の報告
- ② 職種ごとの認知症ケアにおける得意なことについて
- ③ 認知症疾患医療センターの役割について

第2回部会 11月25日（木） 16名出席

- ① 事例研究について多職種連携推進・研修部会との協同による開催について
- ② 研修会について

第3回部会 3月10日（木） 15名出席

- ① 研修会報告
- ② 事例研究の振り返りと意見交換
- ③ 次年度のすすめかた

1. 認知症初期集中支援事業の事例研究（多職種連携推進・研修部会との協同で研修を開催）

日時：令和4年1月27日（木）午後7時～8時30分

方法：オンライン

人数：50名（部会員15名、部会員以外35名）

内容：認知症初期集中支援事業について

認知症初期集中支援事業事例から認知症への支援についてグループワークを行った。同じ認知症の事例であっても職種によって支援をする視点が異なっていることがグループワークによって明らかとなった。認知症の支援についても医療・介護の連携が重要であることを再確認した。

2. 令和4年度にむけた課題

認知症初期集中支援事業での事例研究では、医療・介護の専門職が意見交換することによって、医療側からの視点、介護側からの視点が異なっていることをお互いに再認識できた。認知症の支援においては、認知症の症状に対する治療だけではなく、本人や家族を取り巻く環境や接し方によっても心身状態の変化が生じることから、医療と介護の両輪での支援が重要である。認知症の方や家族への支援におけるさらなる医療と介護の連携に向け取り組んでいく。

## 10 武蔵野市在宅医療介護連携支援室 【在宅医療・介護連携に関する相談支援（才）】

○平成27年7月1日、武蔵野市医師会館内に設置。医療・介護関係者からの相談に対応。

### 《令和3年度の活動内容》

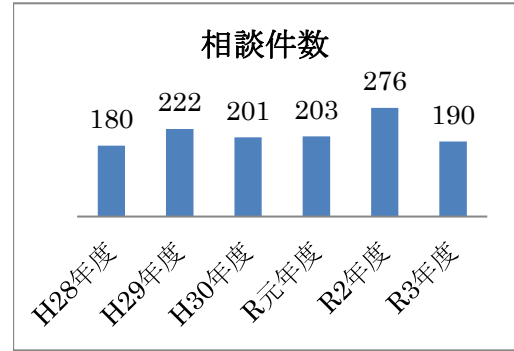
| 相談件数   |              |             | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計   |    |
|--------|--------------|-------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|----|
|        |              | ケース数        | 19 | 17 | 11 | 8  | 17 | 13 | 13  | 11  | 19  | 21 | 22 | 19 | 190 |    |
| 相談内容   | 在宅療養         | 在宅療養調整      | 7  | 5  | 4  | 1  | 5  | 5  | 5   | 7   | 5   | 7  | 11 | 5  | 67  |    |
|        |              | ショート、入院入所調整 | 1  | 2  | 1  | 1  | 2  | 1  | 1   | 1   | 1   | 4  | 0  | 1  | 3   | 18 |
|        | 退院支援         | 在宅療養調整      | 1  | 0  | 0  | 0  | 1  | 1  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 3   | 6  |
|        |              | 転院支援        | 0  | 1  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 1  | 1  | 0  | 4   | 7  |
|        | その他          | MCS         | 2  | 2  | 3  | 1  | 0  | 0  | 2   | 1   | 3   | 10 | 1  | 1  | 1   | 26 |
|        |              | COVID-19    | 0  | 0  | 2  | 4  | 8  | 5  | 2   | 1   | 3   | 3  | 8  | 1  | 1   | 37 |
|        |              | その他         | 8  | 7  | 1  | 1  | 1  | 1  | 3   | 1   | 3   | 0  | 1  | 2  | 2   | 29 |
| 相談元    | 医療機関         | 1           | 2  | 4  | 6  | 3  | 5  | 4  | 1   | 6   | 1   | 3  | 5  | 4  | 41  |    |
|        | 地域包括(在支)(行政) | 3           | 4  | 2  | 0  | 3  | 2  | 1  | 1   | 3   | 7   | 7  | 5  | 5  | 38  |    |
|        | 居宅(ケアマネ)     | 10          | 9  | 3  | 1  | 6  | 2  | 6  | 6   | 5   | 11  | 8  | 7  | 7  | 74  |    |
|        | 訪問看護         | 3           | 1  | 1  | 0  | 0  | 1  | 1  | 1   | 1   | 1   | 0  | 0  | 0  | 10  |    |
|        | 訪問介護系        | 0           | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 1   | 1  | 0  | 0  | 2   |    |
|        | 通所系          | 0           | 0  | 0  | 0  | 1  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 1   |    |
|        | 施設系          | 0           | 0  | 0  | 1  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 1   |    |
|        | その他          | 2           | 1  | 1  | 0  | 3  | 3  | 1  | 2   | 3   | 0   | 4  | 2  | 2  | 22  |    |
| 訪問件数   |              |             | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計   |    |
|        |              | 計           | 6  | 19 | 44 | 38 | 27 | 24 | 16  | 16  | 6   | 14 | 11 | 9  | 230 |    |
|        |              | 医療機関        | 2  | 1  | 3  | 4  | 3  | 1  | 2   | 2   | 4   | 5  | 5  | 4  | 36  |    |
|        |              | 包括(在支)・行政   | 1  | 0  | 9  | 9  | 8  | 8  | 6   | 6   | 0   | 5  | 3  | 3  | 58  |    |
|        |              | 他地域連携支援室    | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0   |    |
|        |              | 訪問看護        | 1  | 0  | 1  | 0  | 1  | 0  | 0   | 0   | 0   | 2  | 1  | 0  | 6   |    |
|        |              | 介護 居宅(ケアマネ) | 1  | 1  | 2  | 1  | 2  | 1  | 1   | 1   | 1   | 1  | 1  | 1  | 14  |    |
|        |              | 介護 通所系      | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0   |    |
|        |              | 介護 訪問介護     | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0   |    |
|        |              | 介護 入所系      | 0  | 0  | 1  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 1   |    |
|        |              | 有料ホーム       | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 2  | 1   | 1   | 1   | 1  | 1  | 1  | 13  |    |
|        |              | ワクチン接種会場    | 0  | 16 | 27 | 23 | 12 | 12 | 6   | 6   | 0   | 0  | 0  | 0  | 102 |    |
|        |              | その他         | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0   |    |
| 出席会議件数 |              |             | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計   |    |
|        |              |             | 2  | 3  | 1  | 1  | 6  | 4  | 1   | 2   | 1   | 6  | 5  | 2  | 34  |    |



## <令和3年度相談実績>

### 1 相談件数

| H29年度 | H30年度 | R元年度 | R2年度 | R3年度 |
|-------|-------|------|------|------|
| 222   | 201   | 203  | 276  | 190  |

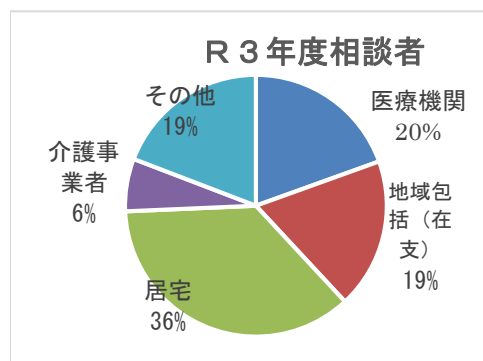
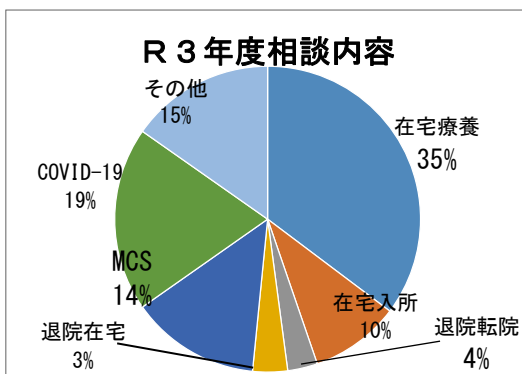


### 2 相談内容

|       | H29年度 |       | H30年度 |       | R元年度  |       | R2年度  |       | R3年度  |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|       | 件数(件) | 割合(%) | 件数(件) | 割合(%) | 件数(件) | 割合(%) | 件数(件) | 割合(%) | 件数(件) | 割合(%) |
| 在宅療養  | 103   | 46.4  | 68    | 33.8  | 73    | 36.0  | 70.0  | 36.8  | 67    | 35.3  |
| 在宅入所  | 12    | 5.4   | 16    | 8.0   | 23    | 11.3  | 20.0  | 10.5  | 18    | 9.5   |
| 退院在宅  | 20    | 9.0   | 18    | 9.0   | 14    | 6.9   | 15.0  | 7.9   | 6     | 3.2   |
| 退院転院  | 20    | 9.0   | 13    | 6.5   | 27    | 13.3  | 16.0  | 8.4   | 7     | 3.7   |
| MCS   | 32    | 14.4  | 29    | 14.4  | 19    | 9.4   | 17.0  | 8.9   | 26    | 13.7  |
| COVID | 0     | 0.0   | 0     | 0.0   | 0     | 0.0   | 121.0 | 63.7  | 37    | 19.5  |
| その他   | 35    | 15.8  | 57    | 28.4  | 47    | 23.2  | 17.0  | 8.9   | 29    | 15.3  |
| 計     | 222   | 100   | 201   | 99.0  | 203   | 100   | 276   | 100   | 190   | 100   |

### 3 相談者

|          | H29年度 |       | H30年度 |       | R元年度  |       | R2年度  |       | R3年度  |       |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|          | 件数(件) | 割合(%) | 件数(件) | 割合(%) | 件数(件) | 割合(%) | 件数(件) | 割合(%) | 件数(件) | 割合(%) |
| 医療機関     | 48    | 30.0  | 52    | 21.6  | 56    | 27.9  | 97    | 35.1  | 41    | 21.7  |
| 地域包括(在支) | 29    | 22.2  | 37    | 13.0  | 41    | 20.4  | 38    | 13.8  | 38    | 20.1  |
| 居宅       | 94    | 36.1  | 69    | 42.4  | 74    | 36.8  | 71    | 25.7  | 74    | 39.2  |
| 介護事業者    | 20    | 1.7   | 13    | 9.0   | 10    | 5.0   | 13    | 4.7   | 14    | 7.4   |
| その他      | 31    | 10.0  | 31    | 14.0  | 22    | 10.9  | 57    | 20.7  | 22    | 11.6  |
| 計        | 222   | 100   | 202   | 100   | 203   | 100   | 276   | 100   | 189   | 100   |



## 《相談内容》

- ・今年度はコロナウイルスがどのようなウイルスであるかわかってきたこと、PCR検査体制、入院のルート、ワクチン接種体制が整ってきたこと等からコロナ関係相談は減少した。
- ・コロナ以外の医療と介護の連携に関する相談はこれまで同様に入ってきている。
- ・前年度は「熱が出た。どうしよう。」といったパニックの相談が多数あり、検査がどこでできるのか、陰性の証明をしたい等検査に関する相談も多かった。
- ・相談の内容もパニックというより具体的な療養体制についてと変化がみられる。
- ・今年度は、具体的な相談「濃厚接触者の介護について」「介護者が陽性の場合の介護について」等が多かった。
- ・市役所安全対策課自宅療養センターと連携し、在宅で療養する軽症患者の重症化を防ぎ、安心して療養できる支援を行った。
- ・SNSを利用した連携が必要とされ、MCSについての相談が増えた。
- ・家族に精神疾患が疑われるようなケースに関する相談が増加傾向。
- ・精神疾患と内科疾患、整形疾患と内科疾患と重複して経過観察が必要な相談が多かった。
- ・緩和ケアに関することや、患者が亡くなった後のグリーフケアの相談もあった。

## 《相談者》

- ・ケアマネジャーからの相談は多数ある。
- ・行政からの相談としては、在宅介護・地域包括支援センター以外に、安全対策課自宅療養センターからの相談も含まれている。
- ・武蔵野市医師会ホームページから医療介護連携支援室を知った市民から入った相談については「該当機関につなぐ」「傾聴」等対応をしている。

## 《新型コロナウイルス感染症について》

- ・安全対策課自宅療養センターと連携し、自宅療養者への医療介入に関する相談等を行った。
- ・相談内容としては「自宅療養中のオンラインや電話による診療体制について」「自宅で療養している児童の急な歯科治療に関する相談」「介護者が陽性となった場合の要介護者の相談」等。
- ・在宅医療介護連携支援室として、集団接種の医師・看護師の配置調整も行った。

## 《今後についての考察》

1. 相談内容については、患者本人のみならず家族も含めた世帯全体の相談、診療科が複数にまたがる患者への支援、精神疾患が疑われるが未受診のケースへの対応、緩和ケアやグリーフケアなど多様化しており、支援者を支援する在宅医療介護連携支援室の役割は大きい。
2. 相談者については、ケアマネジャーからの相談が多数だが、すでに連携しているケアマネジャーからの相談が多い。在宅医療介護連携支援室について、より多くのケアマネジャーや医療・介護関係者に周知が必要。
3. 新型コロナウイルス感染症については、感染予防の必要な状況が続くと考えられ、引き続き医療・介護関係者、行政、安全対策課自宅療養センターとも連携し対応が必要。

在宅医療・介護連携推進事業の状況を、広く周知するために、「武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会通信」を作成し、医療・介護関係者に配布するとともに、市ホームページに掲載している。

| 号 (vol.) | 発行日               |
|----------|-------------------|
| vol. 1   | 平成 27 年 8 月 28 日  |
| vol. 2   | 平成 27 年 12 月 25 日 |
| vol. 3   | 平成 28 年 6 月 27 日  |
| vol. 4   | 平成 28 年 10 月 25 日 |
| vol. 5   | 平成 29 年 5 月 2 日   |
| vol. 6   | 平成 30 年 2 月 9 日   |
| vol. 7   | 平成 30 年 2 月 9 日   |
| vol. 8   | 平成 31 年 3 月 28 日  |
| vol. 9   | 令和 2 年 3 月 31 日   |
| vol. 10  | 令和 3 年 6 月 15 日   |
| vol. 11  | 令和 4 年 7 月 1 日    |

# 武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会通信

Vol. 11

令和4年7月1日

発行／編集 武蔵野市健康福祉部地域支援課

## 令和3年度 武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会の報告

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、協議会や部会も回数を減らし、オンラインで行うなど様々な変更を余儀なくされました。医療従事者への負担が大きい中で武蔵野市医師会の田原会長を中心に活発な議論が行われました。

### ★在宅医療・介護連携推進協議会 委員名簿（令和3年度）

| 氏名（敬称略） | 所属                          | 選任区分 | 氏名（敬称略） | 所属                          | 選任区分 |
|---------|-----------------------------|------|---------|-----------------------------|------|
| ◎田原 順雄  | 一般社団法人武蔵野市医師会               | 医療   | 石川 公教   | 武蔵野市通所介護・通所リハビリテーション事業者連絡会議 | 介護   |
| 天野 英介   | 一般社団法人武蔵野市医師会病院部            | 医療   | 小島 一隆   | 公益財団法人武蔵野市福祉公社              | 福祉   |
| 石井 いほり  | 一般社団法人武蔵野市医師会在宅医療介護連携支援室    | 医療   | *武永 慶志  | 在宅介護・地域包括支援センター             | 福祉   |
| 谷口 勝哉   | 公益社団法人東京都武蔵野市歯科医師会          | 医療   | 小原 光文   | 地域活動支援センター                  | 福祉   |
| 佐藤 博之   | 一般社団法人武蔵野市薬剤師会              | 医療   | 金丸 絵里   | 武蔵野市地域包括支援センター（基幹型）         | 福祉   |
| 鎌田 智幸   | 武蔵野赤十字病院医療連携センター            | 医療   | *三浦 弘嗣  | 武蔵野市基幹相談支援センター              | 福祉   |
| 秋元 千香   | 武蔵野市訪問看護・訪問リハビリテーション事業者連絡会議 | 医療   | 守矢 利雄   | 公益財団法人武蔵野健康づくり事業団           | 保健   |
| ○*近藤和正  | 武蔵野市居宅介護支援事業者連絡協議会          | 介護   | *河西あかね  | 東京都多摩府中保健所                  | 行政   |
| *磯山 公一  | 武蔵野市訪問介護事業者連絡会議             | 介護   | 山田 剛    | 武蔵野市健康福祉部長                  | 行政   |

◎会長、○副会長、\*令和3年度就任した委員

### ○日程

|     | 日時                         | 場所          | 内容  |
|-----|----------------------------|-------------|---|
| 第1回 | 令和3年9月3日（金）<br>午後7時～8時30分  | オンライン<br>開催 | 令和2年度 在宅医療・介護連携推進事業の報告<br>令和3年度の取組み、計画等について |
| 第2回 | 令和4年3月28日（月）<br>午後7時～8時30分 | オンライン<br>開催 | 令和3年度 在宅医療・介護連携推進事業の進捗状況<br>と今後の予定について      |

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインで行われました



# 5部会と在宅医療介護連携支援室の報告

## (1) 入退院時支援部会

【切れ目のない在宅医療と介護サービスの提供体制の構築推進（ウ）】

入院時連携シートのワクチン接種状況の記載欄を追加する見直しを行いました。またコロナ禍で対面によるカンファレンスが難しいなか、入院時から退院後の生活を見据えた医療と介護の連携をどのようにしていくかが課題にあげられ、入院時連携シートが活用されている状況がわかりました。

迅速かつ正確な情報共有が求められることもあり、在宅と入院時の連携がスムーズになるための情報は何か、またシート（紙）による連携だけではなく、ICTの活用についても検討できるとよいのではないかとといったことが課題として意見交換がありました。

《令和3年度の活動内容》

第1回部会 8月26日（木） 16名参加

- ① 令和2年度の部会の活動報告
- ② 令和3年度部会の進め方について

第2回部会 2月10日（木） 書面開催

- ① コロナ禍における入退院時の医療と介護の連携について
- ② 入院時情報連携シートの活用状況について
- ③ 来年度の部会の進め方について

## (2) ICT連携部会

【医療・介護関係者の情報共有の支援（エ）】

往診や訪問診療に対応できる医療機関を始め、歯科・薬局・訪問看護ステーション・介護事業所・相談窓口など必要な医療資源の情報をキーワード検索できるシステムとして令和3年1月から運用開始した武蔵野市在宅医療・介護資源マップ（WEB版）の更新を行いました。また、MCS（メディカルケアステーション）活用のための研修会を行いました。医療・介護の連携でのMCSの活用は、感染対策においても対面によらず連携のできることもあり、引き続き活用が促進されるよう検討をしていきます。

《令和3年度の活動内容》

第1回部会 8月27日（金） 12名参加

- ① 在宅医療介護資源マップの更新について
- ② MCSの活用について
- ③ 在宅医療介護連携支援室のホームページについて

MCS研修会 12月7日（火） 29名参加（オンライン）

「MCS（メディカルケアステーション）の活用方法について」

講師 エンブレース株式会社 松尾千歌氏

### (3) 多職種連携推進・研修部会

【医療・介護関係者の研修（カ）】

新型コロナウイルス感染症での自宅療養にむけてどのように多職種が連携しなくてはならないのかをテーマとした研修会を行いました。また認知症連携部会から、部会で行っていた初期集中支援事業における事例研究を部会員だけにとどめず広く行いたいという意向があり、令和3年度は、認知症初期集中支援事業における事例研究を協同で開催しました。

いずれも多職種が一同に会する研修会ができないためオンラインでの開催となりました。感染症拡大防止を念頭におきつつ、どのようにすれば顔の見える関係づくり、連携の強化につながる研修会になるのかを検討していきます。

《令和3年度の活動内容》

第1回部会 8月5日（木） 25名参加

- ① 令和3年度の部会の進め方について
- ② 研修テーマについて

多職種連携推進研修会 8月25日（水）

オンライン開催 / 参加者291名（アカウント数198）

武蔵野市の取組説明「武蔵野市における自宅療養事業」

武蔵野市安全対策課長 今井隆文氏

基調講演「新型コロナウイルス感染症における自宅療養支援と在宅医療介護連携」

東京都医師会理事・調布市医師会会長 西田伸一氏

### (4) 普及・啓発部会

【地域住民への普及啓発（キ）】

コロナ禍により市民向けセミナーの開催が困難となり、令和2年度と同様に「在宅医療」「介護」「多職種連携」「看取り」をテーマとした映画をオンラインで配信しました。映画の冒頭では、松下玲子市長による在宅医療・介護連携に関するメッセージ動画の配信も行いました。また、より身近なものとして考えてもらえるよう、健康づくり事業団のオリジナルキャラクターを登場人物として、在宅医療・介護連携に関する情報提供するリーフレットの見直し、作成を行いました。

今後も感染状況によっては大人数が集合することや対面方式が難しいことも考えられるため、どのように市民への普及・啓発を行っていくかが課題となっています。

《令和3年度の活動内容》

第1回部会 8月24日（火） 14名

- ① 令和3年度の部会の進め方について
  - ・市民セミナーについて
  - ・リーフレットの見直しについて

市民向けセミナー「映画を通して医療と介護を学ぶ」

事前申込制 アカウント数 104

視聴者 最年少40歳 最高齢82歳 平均56.2歳



## **(5) 認知症連携部会**

【切れ目のない在宅医療と介護サービスの提供体制の構築推進（ウ）】

【医療・介護関係者の情報共有の支援（エ）】

令和2年度に引き続き、認知症初期集中支援事業の事例を用いた事例研究を行いました。部会内に留まらず多くの医療・介護関係者の参加を図るため、令和3年度は多職種連携推進・研修部会との協同によるオンラインを活用した研修会として開催し、より多くの医療・介護の専門職と意見交換、情報共有を図ることができました。

《令和3年度の活動内容》

### **第1回部会 6月29日（火）**

- ① 令和2年度活動報告
- ② 職種ごとの認知症ケアにおける得意なことについて
- ③ 認知症疾患医療センターの役割について

### **第2回部会 11月25日（木）**

- ① 事例研究を多職種連携推進・研修部会との協同で開催することについて
- ② 事例研究のすすめかた

### **第3回部会 3月10日（木）**

- ① 多職種連携推進・研修部会との協同研修の報告
- ② 事例研究の振り返りと意見交換
- ③ 次年度のすすめかた

## **(6) 在宅医療介護連携支援室**

在宅医療介護連携支援室への相談は、患者本人のことだけではなく家族も含めた世帯全体の相談、診療科が複数にまたがる患者への支援、精神疾患が疑われるが未受診のケースへの対応、緩和ケアやグリーフケアなど多様化してきています。ケアマネジャーからの相談が多数を占めています。しかし、すでに連携しているケアマネジャーからの相談が多いことから、在宅医療介護連携支援室の支援者を支援する役割について、ケアマネジャーだけではなく、医療・介護関係者に周知が必要だと考えます。新型コロナウイルス感染症については、感染予防の必要な状況が続くと考えられ、引き続き、医療・介護関係者、行政、武蔵野市安全対策課内に設置されている自宅療養センターとも連携し対応していきます。

【事務局】 武蔵野市健康福祉部地域支援課（在宅医療・介護連携担当） 金丸

〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 電話番号 0422-60-1941（直通）FAX 0422-51-9218

メールアドレス SEC-CHIIKI@city.musashino.lg.jp

12 武蔵野市在宅医療・介護連携推進事業  
国の定める8事業（ア）～（ク）の取り組みについて

|     | 8事業                     | 令和元年度の実績  | 令和2年度の実績  | 令和3年度の実績   |
|-----|-------------------------|---|---|--|
| (ア) | 地域の医療・介護の資源の把握          | <ul style="list-style-type: none"> <li>既存資料の活用</li> <li>リハビリテーション機関名簿のWEB化</li> <li>WEBマップ導入の検討</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>既存資料の活用</li> <li>リハビリテーション機関名簿のWEB化（更新）</li> <li>医療・介護マップ（WEB版）の導入</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>既存資料の活用</li> <li>リハビリテーション機関名簿のWEB化（更新）</li> <li>医療・介護マップ（WEB版）の活用</li> </ul>   |
| (イ) | 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討  | <ul style="list-style-type: none"> <li>協議会の開催（3回開催）</li> <li>5部会で活動。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>協議会の開催（2回開催）</li> <li>5部会で活動</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>協議会の開催（2回開催）</li> <li>5部会で活動</li> </ul>   |
| (ウ) | 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進 | <ul style="list-style-type: none"> <li>入院時の病院への情報提供の仕方について、「入院時情報連携シート」を作成し活用</li> <li>退院時の情報提供について看護サマリーの活用状況調査</li> <li>身寄りのない入院患者の意思確認方法について検討</li> <li>認知症高齢者を支援するための医療と介護のチームによる連携の体制づくりについて検討</li> </ul>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>「入院時情報連携シート」の活用状況調査</li> <li>身寄りのない入院患者の対応について事例を通して検討</li> <li>コロナ禍での入退院時の支援について意見交換</li> <li>今年度の認知症初期集中支援事業4事例を対象とした事例研究の実施</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「入院時情報連携シート」の活用と見直し</li> <li>コロナ禍での入退院時の支援について意見交換</li> <li>認知症初期集中支援事業事例を対象とした多職種による事例研究の実施</li> </ul>   |
| (エ) | 医療・介護関係者の情報共有の支援        | <ul style="list-style-type: none"> <li>ICT連携の現状把握</li> <li>ICT連携登録数 605件</li> <li>医師会「在宅医療介護連携支援室」のホームページの開設(2月)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍でのICT連携の状況把握</li> <li>ICT連携登録数（3年2月末現在）635件</li> <li>医師会「在宅医療介護連携支援室」のホームページの活用状況の確認</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍でのICT連携の状況把握</li> <li>ICT連携登録数（4年2月末現在）659件</li> <li>医師会「在宅医療介護連携支援室」のホームページの活用状況の確認</li> </ul>   |
| (オ) | 在宅医療・介護連携に関する相談支援       | <ul style="list-style-type: none"> <li>相談実績 203件</li> <li>医師会の窓口として(ア)～(ク)9事業へ参加、各部会への参加</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>相談実績(3年1月末現在) 248件</li> <li>医師会の窓口として(ア)～(ク)8事業へ参加、各部会への参加</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>相談実績(4年2月末現在) 170件</li> <li>医師会の窓口として(ア)～(ク)8事業へ参加、各部会への参加</li> </ul>   |
| (カ) | 医療・介護関係者の研修             | <ul style="list-style-type: none"> <li>「ACP」をテーマに事前研修と合同グループワークを実施</li> <li>①事前研修(講演会) 147名参加</li> <li>②合同グループワーク 77名参加</li> <li>他の職種との連携の広がり、テーマに対する知識の深まりの確認のため、3か月後にアンケートを実施</li> </ul>                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>「ACP」をテーマに研修会(オンライン)を実施 110名参加</li> <li>コロナ禍のため、合同グループワークは実施せず</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「新型コロナウイルス感染症における自宅療養支援と在宅医療介護連携」をテーマにオンライン研修の実施。198アカウント、291名参加。</li> <li>認知症初期集中支援事業事例を対象とした多職種による事例研究の実施オンライン、50名参加。</li> </ul>  |
| (キ) | 地域住民への普及啓発              | <ul style="list-style-type: none"> <li>市民向けの普及啓発について検討</li> <li>①市民向けセミナー開催</li> <li>2月15日(土) スイングホール 165名参加</li> <li>「住み慣れた地域で、安心して医療と介護を受けるために～在宅への復帰を支援する『地域包括ケア病床』～」</li> <li>「ケアリンピック武蔵野2019」704名参加</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>市民向けの普及啓発について検討</li> <li>①市民向けセミナー開催(オンライン)</li> <li>2月19日(金)～25日(木)</li> <li>「住み慣れた地域で、安心して医療と介護を受けるために」映画「ピア～まちをつなぐもの～」の配信 118名参加</li> <li>②リーフレットの配布（3年3月10日現在）2,025部配布</li> <li>「ケアリンピック武蔵野」はコロナ禍のため、中止</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>市民向け普及啓発について検討</li> <li>市民向けセミナー開催(オンライン) 2月18日(金)～3月3日(木)</li> <li>「住み慣れた地域で安心して医療と介護を受けるために」映画「ケア～あなただよかつた～」配信</li> <li>リーフレットの改定</li> <li>「ケアリンピック武蔵野2021」オンライン開催</li> </ul> |
| (ク) | 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携  | <ul style="list-style-type: none"> <li>北多摩南部保健医療圏による情報共有</li> <li>リハビリテーション機関ナビの更新準備</li> <li>東京都在宅療養担当者連絡会への参加、情報共有</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>北多摩南部保健医療圏による情報共有</li> <li>リハビリテーション機関ナビのWEB化（更新）(再掲)</li> <li>東京都在宅療養担当者連絡会(書面開催)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>北多摩南部医療圏による情報共有</li> <li>リハビリテーション機関ナビの更新</li> <li>東京都在宅療養担当者連絡会(中止)資料送付による情報共有</li> </ul>  |



# 資 料 編

## 武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会設置要綱

### (設置)

第1条 介護保険法（平成9年法律第123号）第115条の45の10第1項の規定に基づき、地域における保健、医療、介護及び福祉に関する関係者（以下「関係者」という。）相互間の在宅医療及び介護に対する理解を深めるとともに、連携を円滑にして、地域に住む人々への支援を行ううえでの課題を解決するため、武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

### (協議事項)

第2条 協議会は、在宅医療及び在宅介護の連携に関する次に掲げる事項について協議及び検討を行う。

- (1) 地域の医療及び介護の資源の把握に関すること。
- (2) 切れ目のない在宅医療及び在宅介護の提供体制の構築及び推進に関すること。
- (3) 関係者の情報共有の支援に関すること。
- (4) 関係者と武蔵野市在宅医療・介護連携相談支援事業実施要綱（平成27年7月1日施行）第2条第2項に定める武蔵野市在宅医療介護連携支援室との連携に関すること。
- (5) 関係者の研修に関すること。
- (6) 在宅医療及び在宅介護に関する啓発に関すること。
- (7) 関係者と東京都多摩府中保健所及び関係自治体との連携に関すること。

### (組織)

第3条 協議会の委員は、次に掲げる者で組織し、市長が委嘱し、又は任命する。

- (1) 医療関係者
- (2) 介護関係者
- (3) 福祉関係者
- (4) 行政関係者
- (5) 前4号に掲げる者のほか、第1条の目的を達成するために市長が必要と認める者

### (会長及び副会長)

第4条 協議会に会長1人及び副会長若干人を置き、会長は委員の互選によりこれを定め、副会長は会長が指名する。

2 会長は、会務を総括し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(委員の任期)

第5条 委員の任期は、3年以内とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会議)

第6条 協議会の会議は、必要に応じて会長が招集する。

2 会長が必要と認めるときは、協議会の会議に委員以外の者の出席を求め、意見を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(部会)

第7条 協議会は、在宅医療及び在宅介護の連携の推進に係る分野別の事項を検討するため、部会を置くことができる。

(報酬)

第8条 委員の報酬は、武蔵野市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例（昭和36年2月武蔵野市条例第7号）の規定により、市長が別に定める。

(事務局)

第9条 協議会の事務局は、健康福祉部地域支援課に置く。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、協議会について必要な事項は、市長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成27年7月1日から施行する。

## 令和3年度 協議会委員・部会委員名簿

### 武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会

(任期：令和3年4月1日から令和6年3月31日まで)

(◎：会長、○：副会長)

| 氏名（敬称略） | 所属                           | 選任区分  |
|---------|------------------------------|-------|
| ◎田原 順雄  | 一般社団法人武蔵野市医師会                | 医療関係者 |
| 天野 英介   | 一般社団法人武蔵野市医師会病院部             | 医療関係者 |
| 石井 いほり  | 一般社団法人武蔵野市医師会在宅医療介護連携支援室     | 医療関係者 |
| 谷口 勝哉   | 公益社団法人東京都武蔵野市歯科医師会           | 医療関係者 |
| 佐藤 博之   | 一般社団法人武蔵野市薬剤師会               | 医療関係者 |
| 鎌田 智幸   | 武蔵野赤十字病院医療連携センター             | 医療関係者 |
| 秋元 千香   | 武蔵野市訪問看護・訪問リハビリテーション事業者連絡会議  | 医療関係者 |
| 斎藤 直樹   | 武蔵野市居宅介護支援事業者連絡協議会（令和3年9月まで） | 介護関係者 |
| ○近藤 和正  | 武蔵野市居宅介護支援事業者連絡協議会（令和3年10月～） | 介護関係者 |
| 磯山 公一   | 武蔵野市訪問介護事業者連絡会議              | 介護関係者 |
| 石川 公教   | 武蔵野市通所介護・通所リハビリテーション事業者連絡会議  | 介護関係者 |
| 小島 一隆   | 公益財団法人武蔵野市福祉公社               | 福祉関係者 |
| 武永 慶志   | 在宅介護・地域包括支援センター              | 福祉関係者 |
| 小原 光文   | 地域活動支援センター                   | 福祉関係者 |
| 金丸 絵里   | 武蔵野市地域包括支援センター（基幹型）          | 福祉関係者 |
| 三浦 弘嗣   | 武蔵野市基幹相談支援センター               | 福祉関係者 |
| 守矢 利雄   | 公益財団法人武蔵野健康づくり事業団            | 保健関係者 |
| 河西 あかね  | 東京都多摩府中保健所                   | 行政関係者 |
| 山田 剛    | 武蔵野市健康福祉部長                   | 行政関係者 |

## 入退院時支援部会（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

|    |      | 氏名（敬称略） | 所 属                         |
|----|------|---------|-----------------------------|
| 1  | 部会長  | 久保 恵理子  | 武蔵境病院 地域医療連携室               |
| 2  | 副部会長 | 石井 いほり  | 武蔵野市医師会 在宅医療介護連携支援室         |
| 3  | 副部会長 | 稲住 成由美  | 武蔵野市居宅介護支援事業者連絡協議会          |
| 4  |      | 井上 俊之   | 武蔵野市医師会                     |
| 5  |      | 天野 英介   | 武蔵野市医師会(病院部)                |
| 6  |      | 辰野 隆    | 武蔵野市歯科医師会                   |
| 7  |      | 柴 知子    | 武蔵野赤十字病院 医療連携センター           |
| 8  |      | 渡部 初恵   | 武蔵野市居宅介護支援事業者連絡協議会          |
| 9  |      | 本田 美由紀  | 武蔵野市訪問看護・訪問リハビリテーション事業者連絡会議 |
| 10 |      | 門守 公子   | 武蔵野市訪問看護・訪問リハビリテーション事業者連絡会議 |
| 11 |      | 岩寄 貴之   | 武蔵野市訪問介護事業者連絡会議             |
| 12 |      | 丸山 雅也   | 武蔵野市通所介護・通所リハビリテーション事業者連絡会議 |
| 13 |      | 服部 健一   | 武蔵野陽和会病院 医療福祉相談室            |
| 14 |      | 冬野 晃二   | 吉祥寺南病院 地域医療連携室              |
| 15 |      | 眞崎 巴    | 吉方病院                        |
| 16 |      | 金丸 絵里   | 武蔵野市地域包括支援センター(基幹型)         |
| 17 |      | 小嶋 敏晴   | 在宅介護・地域包括支援センター             |
| 18 |      | 齋藤 大輔   | 武蔵野市 健康福祉部 生活福祉課            |
| 19 |      | 浜口 陽子   | 武蔵野市 健康福祉部 障害者福祉課           |
| 20 |      | 梅澤 陽子   | 武蔵野市 健康福祉部 健康課              |

### ICT 連携部会（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

|    |      | 氏名（敬称略） | 所属                      |
|----|------|---------|-------------------------|
| 1  | 部会長  | 田原 順雄   | 武蔵野市医師会                 |
| 2  | 副部会長 | 山田 剛    | 武蔵野市健康福祉部長              |
| 3  |      | 井上 俊之   | 武蔵野市医師会                 |
| 4  |      | 石井 いほり  | 武蔵野市医師会 在宅医療介護連携支援室     |
| 5  |      | 柳澤 宏    | 武蔵野市歯科医師会               |
| 6  |      | 鎌田 智幸   | 武蔵野赤十字病院 医療連携センター       |
| 7  |      | 阿部 寿史   | 武蔵野市居宅介護支援事業者連絡協議会      |
| 8  |      | 松村 明子   | 武蔵野市居宅介護支援事業者連絡協議会      |
| 9  |      | 宮田 真紀   | 訪問看護・訪問リハビリテーション事業者連絡会議 |
| 10 |      | 藤間 章典   | 武蔵野市訪問介護事業所連絡会          |
| 11 |      | 佐藤 泰司   | 通所介護・通所リハビリテーション事業者連絡会  |
| 12 |      | 小野 宗祐   | 武蔵野市地域包括支援センター（基幹型）     |
| 13 |      | 庄司 幸江   | 在宅介護・地域包括支援センター         |
| 14 |      | 稲葉 秀満   | 武蔵野市健康福祉部高齢者支援課長        |
| 15 |      | 吉野 貴志   | 武蔵野市健康福祉部相談支援担当課長       |

**多職種連携推進・研修部会（令和3年4月1日～令和4年3月31日）**

|    |      | 氏名（敬称略） | 所 属                        |
|----|------|---------|----------------------------|
| 1  | 部会長  | 田原 順雄   | 武蔵野市医師会                    |
| 2  | 副部会長 | 中川 典子   | 武蔵野市居宅介護支援事業者連絡協議会         |
| 3  | 副部会長 | 山田 真由美  | 武蔵野市居宅介護支援事業者連絡協議会         |
| 4  |      | 鈴木 省悟   | 武蔵野市医師会                    |
| 5  |      | 石井 いほり  | 武蔵野市医師会                    |
| 6  |      | 蒲池 史郎   | 武蔵野市歯科医師会                  |
| 7  |      | 渡辺 拓也   | 武蔵野市薬剤師会                   |
| 8  |      | 中嶋 みや子  | 武蔵野赤十字病院 医療連携センター          |
| 9  |      | 菊地 礼子   | 武蔵野市訪問看護・訪問リハビリテーション事業者連絡会 |
| 10 |      | 渡邊 裕司   | 武蔵野市訪問看護・訪問リハビリテーション事業者連絡会 |
| 11 |      | 宍戸 理香   | 武蔵野市訪問介護事業者連絡会議            |
| 12 |      | 佐藤 親史   | 武蔵野市通所介護・通所リハビリテーション事業者連絡会 |
| 13 |      | 高橋 大輔   | 武蔵野市福祉公社（権利擁護センター）         |
| 14 |      | 金丸 絵里   | 武蔵野市地域包括支援センター（基幹型）        |
| 15 |      | 柳野 聡    | 在宅介護・地域包括支援センター            |
| 16 |      | 鐘水 知子   | 東京都多摩府中保健所                 |
| 17 |      | 安納 博之   | 武蔵野健康づくり事業団                |
| 18 |      | 早福 研    | 武蔵野市 健康福祉部 生活福祉課           |
| 19 |      | 小園 優紀   | 武蔵野市 健康福祉部 障害者福祉課          |
| 20 |      | 五代 菜央   | 武蔵野市 健康福祉部 健康課             |
| 21 |      | 矢野 徹    | 武蔵野市 健康福祉部 保険年金課           |

**普及・啓発部会（令和3年4月1日～令和4年3月31日）**

|    |      | 氏名（敬称略） | 所 属                     |
|----|------|---------|-------------------------|
| 1  | 部会長  | 守矢 利雄   | 武蔵野健康づくり事業団             |
| 2  | 副部会長 | 大川 真央   | 武蔵野赤十字病院 医療連携センター       |
| 3  | 副部会長 | 松村 明子   | 武蔵野市居宅介護支援事業者連絡協議会      |
| 4  | 副部会長 | 山田 真由美  | 武蔵野市居宅介護支援事業者連絡協議会      |
| 5  |      | 石井 いほり  | 武蔵野市医師会 在宅医療介護連携支援室     |
| 6  |      | 佐久間 琢   | 武蔵野市歯科医師会               |
| 7  |      | 安田 農    | 武蔵野市薬剤師会                |
| 8  |      | 浅川 桂子   | 訪問介護事業者連絡会議             |
| 9  |      | 檜崎 真由美  | 訪問看護・訪問リハビリテーション事業者連絡会議 |
| 10 |      | 山崎 満    | 訪問看護・訪問リハビリテーション事業者連絡会議 |
| 11 |      | 小野 宗祐   | 武蔵野市地域包括支援センター（基幹型）     |
| 12 |      | 篠宮 妙子   | 在宅介護・地域包括支援センター         |
| 13 |      | 戸部 祐子   | 武蔵野健康づくり事業団             |
| 14 |      | 有賀 友哉   | 武蔵野市 健康福祉部 健康課          |
| 15 |      | 虻川 奈央   | 武蔵野市 健康福祉部 健康課          |



**認知症連携部会（令和3年4月1日～令和4年3月31日）**

|    |      | 氏名（敬称略） | 所 属                     |
|----|------|---------|-------------------------|
| 1  | 部会長  | 鎌田 智幸   | 武蔵野赤十字病院                |
| 2  | 副部会長 | 上田 玲子   | 在宅介護・地域包括支援センター         |
| 3  |      | 天野 英介   | 武蔵野市医師会                 |
| 4  |      | 那須 一郎   | 武蔵野市医師会                 |
| 5  |      | 大瀧 信幸   | 武蔵野赤十字病院 認知症疾患医療センター    |
| 6  |      | 山内 晴美   | 武蔵野赤十字病院 医療連携センター       |
| 7  |      | 江口 久美子  | 武蔵野市居宅介護支援事業者連絡協議会      |
| 8  |      | 川西 理乃   | 武蔵野市居宅介護支援事業者連絡協議会      |
| 9  |      | 末永 輝幸   | 訪問看護・訪問リハビリテーション事業者連絡会議 |
| 10 |      | 千葉 信子   | 訪問看護・訪問リハビリテーション事業者連絡会議 |
| 11 |      | 後藤 章    | 訪問介護事業者連絡会議             |
| 12 |      | 近藤 伸之   | 訪問介護事業者連絡会議             |
| 13 |      | 能丸 創    | 認知症介護指導者                |
| 14 |      | 三木 明美   | 武蔵野市福祉公社ホームヘルプセンター武蔵野   |
| 15 |      | 河野 晴華   | 武蔵野市地域包括支援センター（基幹型）     |
| 16 |      | 内田 芽衣   | 武蔵野市地域包括支援センター（基幹型）     |

## 武蔵野市在宅医療・介護連携相談支援事業実施要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、地域における在宅医療及び在宅介護の提供に必要な関係者の連携に関する相談等に応じるとともに、必要な情報の提供及び助言を行うことで、地域で安心して在宅療養を継続できるようにするため、介護保険法（平成9年法律第123号）第115条の45第2項第4号及び介護保険法施行規則（平成11年厚生省令第36号）第140条の62の8第5号の規定に基づき武蔵野市在宅医療・介護連携相談支援事業（以下「事業」という。）を実施することについて、必要な事項を定めるものとする。

(実施体制)

第2条 事業の実施主体は、武蔵野市とし、市長は、事業の円滑な遂行のため、一般社団法人武蔵野市医師会（以下「医師会」という。）に業務を委託するものとする。

2 医師会は、在宅医療及び在宅介護の提供に必要な連携に関する相談窓口として、武蔵野市在宅医療介護連携支援室を設置する。

(実施内容)

第3条 事業の内容は、次に掲げるものとする。

- (1) 在宅医療及び在宅介護に関する関係者からの相談及び当該関係者間の調整に関すること。
- (2) 訪問診療及び往診に係る状況の把握及び情報の提供に関すること。
- (3) 病院及び介護施設に係る状況の把握及び情報の提供に関すること。
- (4) 在宅医療及び在宅介護に関する関係者相互間の情報共有の支援に関すること。

(職員の配置)

第4条 医師会は、事業の実施にあたって、専任の相談員を配置するものとする。

(実施上の留意点)

第5条 事業の実施に携わる者は、支援の対象となる者のプライバシーの保護に十分配慮するとともに、業務上知りえた秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

(委託料)

第6条 委託料の額は、予算の範囲内で市長が別に定める。

2 委託料の支払に必要な手続及び方法は、武蔵野市会計事務規則（昭和39年11月武蔵野市規則第33号）に定めるところによる。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、市長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成27年7月1日から施行する。

## 医療・介護・福祉関係機関の皆様へ

# 武蔵野市在宅医療介護連携支援室開設のお知らせ

平成 27 年 7 月 1 日より、医療機関や介護関係者の各種サービスに関する相談窓口として、「武蔵野市在宅医療介護連携支援室」を武蔵野市医師会館内に開設しました。

この事業は、平成 27 年度から介護保険法の地域支援事業にて制度化された「在宅医療・介護連携推進事業」の一つである「在宅医療・介護連携に関する相談支援事業」として実施します。

武蔵野市は、武蔵野市医師会の協力のもと、医療と介護の関係機関や多職種連携を推進し、市民の在宅療養生活を支援します。

### 【介護関係事業者】

ケアマネジャー、訪問介護、訪問看護、訪問リハ、通所施設、介護老人保健施設 等

### 【医療関係】

病院・診療所  
歯科診療所・薬局 等



### 地域包括支援センター 在宅介護支援センター

- 総合相談支援業務
- 権利擁護業務
- 包括的・継続的ケアマネジメント業務  
地域ケア会議の開催、ケアマネジャー支援  
支援困難事例等への助言
- 介護予防ケアマネジメント業務 など

### 在宅医療介護連携支援室

- 医療機関に関する相談・紹介・調整
- 往診・訪問診療に関する情報提供
- 在宅で療養する市民の入院調整
- 医療機関への介護サービスに関する情報提供 など

- 医療、介護関係者からの相談に対応します。
- 地域包括支援センター・在宅介護支援センターと連携して対応します。
- ICT (MCS) の利用に関するサポートをします。



例えば…こんな相談をお受けします。

- 在宅医療を希望する方の相談を受けたけれど、訪問してくれる医療機関を調べたい。
- 退院してくる方の在宅療養について相談したい。
- ICT (MCS) の操作方法を教えてほしい。
- 訪問してくれる歯科医師や薬剤師を教えてほしい。 等

相談内容に応じ医療機関  
や事業所等へ訪問します。  
事前にご相談ください。

|        |                                   |
|--------|-----------------------------------|
| 相談日    | 月・火・木・金                           |
| 相談時間   | 9時～17時                            |
| 電話番号   | 0422-39-8780                      |
| FAX    | 0422-39-8781                      |
| E-mail | musashi-renkei@iaa.itkeeper.ne.jp |
| 相談担当   | 社会福祉士／介護支援専門員 石井<br>ICT サポート担当 上村 |

送信先:

御中・様

FAX:

電話:

## 【入院時情報連携シート】

入院日:令和 年 月 日  
記載日:令和 年 月 日

この情報は利用者(患者)、家族の同意を得て提供しています。

|                |  |                 |                   |                 |  |         |     |   |
|----------------|--|-----------------|-------------------|-----------------|--|---------|-----|---|
| 1. 利用者(患者)基本情報 |  | 新型コロナウイルスワクチン接種 | 1回目               |                 | 2回目  |         | 3回目 |   |
| 医療機関           | 患者ID   | ふりがな            | 性別                |                 | 生年月日                                       |         |     |   |
|                |  | 氏名              | 男・女               | 明・大・昭           | 年  | 月       | 日生  | 歳 |
| 要介護度           | 未申請・区分変更中・新規申請中・非該当・総合事業対象者<br>要支援 1・2 要介護 1・2・3・4・5 |                 |                   | 介護保険の<br>自己負担割合 |  | 1・2・3 割 |     |   |
| 障害             | 無・有(身体 種 級・知的 度・精神 級)                                |                 |                   |                 |  |         |     |   |
| サービス<br>利用状況   | 訪問介護・通所介護・通所リハ・訪問看護・訪問診療・福祉用具(詳細)                    |                 |                   |                 |  |         |     |   |
| 認知症            | 無・軽度・中度・重度<br>周辺症状( )                                |                 | 認知症高齢者<br>日常生活自立度 |                 | 自立・Ⅰ・Ⅱa・Ⅱb・Ⅲa・Ⅲb・Ⅳ・Ⅴ<br>(備考 主治医の意見書・認定調査票) |         |     |   |
| 経済状況           | 生活保護受給(担当者)・非課税世帯・課税世帯( )                            |                 |                   |                 |  |         |     |   |
| 年金             | 無年金・国民年金・厚生年金・障害年金・その他( )                            |                 |                   |                 |  |         |     |   |
| かかりつけ医         | 医療機関名:   |                 | 担当医名:             |                 | 電話番号:                                      |         |     |   |
| 訪問看護           | 事業所名:  |                 | 担当者名:             |                 | 電話番号:                                      |         |     |   |

## 2. 家族・住宅状況

|        |                    |  |            |  |            |  |  |  |
|--------|--------------------|--|------------|--|------------|--|--|--|
| 世帯構成   | 独居・同居家族あり(構成)・日中独居 |  |            |  |            |  |  |  |
| 主介護者   | (続柄)               |  | 同居・別居      |  | 連絡先        |  |  |  |
| キーパーソン | (続柄)               |  | 同居・別居      |  | 連絡先        |  |  |  |
| 介護力    | 良好・やや不足・不足         |  | 介護者の健康状態   |  | 良好・やや不良・不良 |  |  |  |
| 住環境    | 戸建て・集合住宅( )        |  | 階建て 居室( )階 |  | エレベーター 有・無 |  |  |  |

## 3. 身体・生活機能の状況

|      |                            |      |                       |  |        |  |  |  |
|------|----------------------------|------|-----------------------|--|--------|--|--|--|
| 食事   | 自立・見守り・一部介助・全介助            | 食事形態 | 普通・とろみ・刻み・ペースト・経管栄養   |  |        |  |  |  |
| 嚥下機能 | むせなし・時々むせる・常にむせる           | 口腔清潔 | 自立・見守り・一部介助・全介助       |  |        |  |  |  |
| 入浴   | 自立・見守り・一部介助・全介助            | 更衣   | 自立・見守り・一部介助・全介助       |  |        |  |  |  |
| 排泄   | 自立・見守り・一部介助・全介助            | 介助方法 | オムツ・ポータブルトイレ(常時・夜間のみ) |  |        |  |  |  |
| 移動   | 自立・見守り・一部介助・全介助            | 補助用具 | 杖・歩行器・シルバーカー・車いす・その他  |  |        |  |  |  |
| 視力   | 問題なし・やや難あり・困難              | 眼鏡   | 無・有                   |  | 義歯の使用  |  |  |  |
| 聴力   | 問題なし・やや難あり・困難              | 補聴器  | 無・有                   |  | 無・有( ) |  |  |  |
| 内服管理 | 自立・他者管理(管理者: )             |      | 管理方法: )               |  |        |  |  |  |
| 服薬状況 | 処方通り服用・時々飲み忘れ・飲み忘れが多い・服薬拒否 |      |                       |  |        |  |  |  |

## 4. 退院後の在宅生活の展望

|                  |     |  |  |  |  |  |  |  |
|------------------|-----|--|--|--|--|--|--|--|
| 在宅復帰要件           |     |  |  |  |  |  |  |  |
| 特記事項             |     |  |  |  |  |  |  |  |
| 退院前カンファレンス実施の必要性 | 有・無 |  |  |  |  |  |  |  |

\*上記情報の詳細の確認、その他必要な内容等がございましたら、下記事業所の担当者までご連絡ください。

|       |     |       |
|-------|-----|-------|
| 事業所名: | 住所  | 担当者名: |
|       | TEL |       |
|       | FAX |       |

このシートは、武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会 入退院時支援部会で検討し作成したものです。

令和3年 月 日作成

## 入院時情報連携シート運用マニュアル

### 【目的】

入院に至ってしまった利用者（患者）が円滑に治療を受け、住み慣れた地域へ戻れるために、在宅支援者側から入院時、医療機関が退院支援に必要な情報を提供する。

### 【目標】

1. 在宅支援者側が入院 3 日以内に、医療機関へ必要な情報提供する。
2. 入院した利用者（患者）が、適切な退院支援を受けて在宅に戻る。
3. 入院時情報連携加算の算定件数が増える。

### 【運用手順】

1. 情報提供の時期
  - ・原則入院後、3 日以内とする
  - ・3 日目が土日、祝日を挟む場合は休日明けでも可能
2. 情報提供の方法
  - ・下記の「武蔵野市内医療機関の提出先一覧」を参照し、FAX で送信する
  - ・平日であれば、送信の前に電話で一報する
  - ・緊急性のある場合、まずは電話で情報を提供し、シート作成後 FAX 送信する
3. 情報提供の確認
  - ・FAX を受診した医療機関は、送信先に電話で受け取った事を連絡する
  - ・シートの内容で不明な点や、他に確認したい内容等については、各施設の担当者から、在宅支援者に直接連絡する
  - ・情報を受け取った利用者（患者）で、在宅支援者が退院前カンファレンス開催の必要性を示唆した時はできる限り配慮する

### 【武蔵野市内医療機関の提出先一覧】

| 医療機関名    | 窓口担当部署   | TEL番号        | FAX 番号       |
|----------|----------|--------------|--------------|
| 武蔵野赤十字病院 | 医療連携センター | 0422-34-2834 | 0422-34-2835 |
| 武蔵野陽和会病院 | 医療福祉相談室  | 0422-52-3427 | 0422-52-3428 |
| 吉祥寺あさひ病院 | 患者さま相談室  | 0422-22-1080 | 0422-22-1080 |
| 小森病院     | 相談室      | 0422-53-0480 | 0422-53-0480 |
| 吉方病院     | 看護主任 眞崎様 | 0422-54-0468 | 0422-54-0468 |
| 森本病院     | 病棟・総師長   | 0422-22-6283 | 0422-27-5016 |
| 吉祥寺南病院   | 地域医療連携室  | 0422-45-6855 | 0422-45-6855 |
| 武蔵境病院    | 地域医療連携室  | 0422-51-0301 | 0422-53-0683 |
| 臼田医院     | 看護師 医師   | 0422-39-5941 | 0422-39-5940 |

\*この一覧は入院時情報の提出先であり、その他の文章の送付については事前に確認する

### 【お問い合わせ（事務局）】

武蔵野市健康福祉部地域支援課  
在宅医療・介護連携推進事業担当  
TEL：0422-60-1941 FAX：0422-51-9218  
e-mail:sec-chiiki@city.musashino.lg.jp

## 武蔵野市におけるICT連携のルール

1. 武蔵野市におけるICT連携は、在宅医療と介護連携を推進するための「連携ツールのひとつ」であることを共通認識とする。
2. メディカルケアステーション（MCS）において、被支援者（患者）グループを作る際は、主治医が支援関係者（連携メンバー）を「招待」し、被支援者（患者）本人及び家族の「同意」は主治医がとる。
3. 被支援者（患者）情報は、被支援者（患者）の尊厳を守るとともに、本人及び家族が同意した支援関係者（連携メンバー）内の共有とする。被支援者（患者）の支援について、治療方針に関することは主治医に、ケアプランに関することは介護支援専門員に確認する。
4. 武蔵野市全ユーザーグループにおいては、個別支援方針に関する情報共有は原則として行わない。
5. ICT連携は、24時間365日支援関係者を拘束したり、即時対応を求めたりするものではない。
6. 急変時や緊急連絡には、原則として、電話等で直接連絡することとし、MCSは使用しない。
7. 利用にあたっては「MCS運用ポリシー（武蔵野市医師会版）」のほか、個人情報保護など各事業所が定めるルールがあればそれを尊重する。
8. 職種による視点の違いや役割の違いを相互に理解し、多職種連携を推進する。

## 武蔵野市在宅医療・介護連携推進事業

### 令和3年度 活動報告書

|       |                                 |
|-------|---------------------------------|
| 発行    | 令和4年8月                          |
| 編集・発行 | 武蔵野市健康福祉部地域支援課                  |
| 住所    | 〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28          |
| 電話    | 0422(60)1941                    |
| FAX   | 0422(51)9218                    |
| メール   | SEC-CHIIKI@city.musashino.lg.jp |